



八戸市立三条中学校 学校だより第11号 令和4年3月25日



## 少年老い易く 学成り難し

時間を大切にして勉学に励みましょう



「光陰矢の如し」は、「少年老い易く 学成り難し」の原典とされる詩の一節を用いたことわざです。 「光陰」は月日や年月を表しており、「月日は放たれた矢のように、あっという間に過ぎ去ってしまう」と いう意味です。放たれてしまった矢は戻ってこないことから、過ぎた時間は取り戻せないという教訓も含 んでいます。この言葉のように、時の流れは速いものです。今日は今年度の締めくくりの日です。この一 年間を振り返ってみましょう。

大いに努力し、日々精進した結果、学習や部活動で成果を上げた人は、一年間「時間を大切」 にし、「時刻を守り」、コツコツ積み上げて来た努力の賜(たまもの)です。

逆に、思ったような結果が出せなかった人は、何が原因であったかを是非考えてください。来年度は 皆さん全員が、地道に努力を続け、思いどおりの成果が収められるよう、期待します。

- 〇少年易老学難成 (少年老い易く 学成り難し) 少年はあっという間に老いてしまうのに、学業を成すのは 難しいものである。
- ○一寸光陰不可軽 (一寸の光陰 軽んず可からず) だからこそ、ほんの少しの時間だからと軽く考えては いけない。
- 〇未覚池塘春草夢 (未だ覚めず池塘 春草の夢) 池のほとりに茂った若草の上で見た、春の夢からさめ てもいないのに。
- 〇階前梧葉已秋声 (階前の梧葉 已に秋声) 階段の前にある青桐の葉はすっかり秋の風に吹かれて いるのだから。

年度当初に、生徒たちに「命、心、時、学び」の四つを特に大切に過ごしてほしいという話を しました。今年度もコロナ禍の中での学校生活となりましたが、保護者の皆様の御理解・御協力 をいただきながら、来年度を迎えることができます。ありがとうございます。

## 4月の主な行事予定



<sup>\*</sup> 給食は、8日(金)からとなります。

## 教職員からのご挨拶

定期異動により退職・転出した教職員からご挨拶を申し上げます。 ≪退職·転出職員≫

職名	氏		本校勤務	転出先等	メッセージ
教頭	佐藤	公一	2年	南浜中 (昇任)	令和2年4月、初めて三条中学校の生徒の皆さんと新任式で対面したとき、生徒の皆さんの元気な挨拶や返事に励まされました。コロナ禍が始まり、これからどうなっていくのだろうと不安な気持ちでしたが、前向きな気持ちに変えてもらったことを覚えています。 2年間という短い間で、何のお役にも立つことができませんでした。ですが、三条中学校という学校で仕事ができたことを光栄に思っています。生徒の皆さん、保護者、地域の皆様、本当にありがとうございました。
教諭	日向	敦子	3年	大館中	3年前の3月、新任の挨拶をするために三条中を訪れたときのことです。玄関の外で出大勢の生徒が出迎えてくれました。何人かの生徒は笑顔でハイタッチもしてくれて、嬉しく思ったのを覚えています。その後、校内を一周したとき、今度は黙々と床磨きをしている生徒の皆さんがいてとても感心しました。あの日のことがついこの間の出来事のように感じられます。あっという間の3年間でしたが、心優しく、何事にも一生懸命に取り組む生徒たち、熱心な先生方と保護者の皆様から学ぶことはとても多く、これからも大事にしていきたいと思います。素晴らしい環境のもとで働けたことに感謝いたします。本当にありがとうございました。
教諭	工藤	睦深	3年	平内町立 小湊中	生徒の皆さん、先生方、そして保護者や地域の 皆様には、様々な場面で助けていただきました。ま た、たくさんのことを教えてもらったり、楽しい時間を過 ごしたりしたことで、思い出もつくることができました。 4月からは、新しい場所でのスタートで、不安もありますが、三条中学校での学びを大切にして頑張っ ていきます。本当にありがとうございました。
講師	大久任	呆美里	4年	長者中 (新採用)	4年間、本当にあっという間でした。生徒の皆さんの明るさや素直な心、保護者の皆様の温かさに支えられ、毎日が楽しく、充実した日々を過ごすことができました。この出会いを自分の財産として、4月から頑張ります。 いままで本当にありがとうございました。
特別支援アシスタント	豊川	昌子	1年	赴任校は 4月決定	三条中生の真面目な学習の姿や行事での個性あ ふれる姿、どれも素敵でした。 皆さんとの出会いと一緒に過ごした日々を忘れません。 本当にお世話になりました。
技能主事	平賀	勝彦	7年	退職	7年間お世話になりました。いつも生徒の皆さんからパワーをもらいながら、仕事をすることができました。生徒の皆さん、保護者、地域の皆様、先生方、今まで本当にありがとうございました。

「一期一会」と「袖振り合うも他生(多生)の縁」・・・人との出会いは大切にしましょう。

日本人には、昔から人との偶然の出会いは大切にすべきであるという教えがあります。3月は巣立ちや別 れの季節です。さみしい限りですが、出会えたことに互いに感謝し、それぞれの場所で元気に頑張りましょう。

## 歓送迎会用

教諭	田中 愛	6年	東中	本校で担当した生徒と共に卒業することは叶いませんでしたが、元気に挨拶する姿や歌う姿など、何事にも一生懸命に取り組む生徒ばかりで楽しい思い出ばかりです。 本当にありがとうございました。
----	------	----	----	--